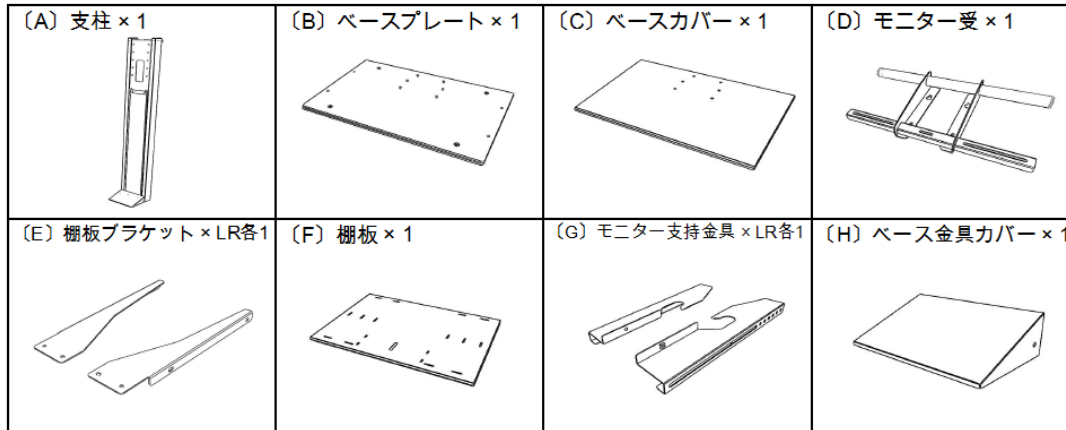


組立説明書

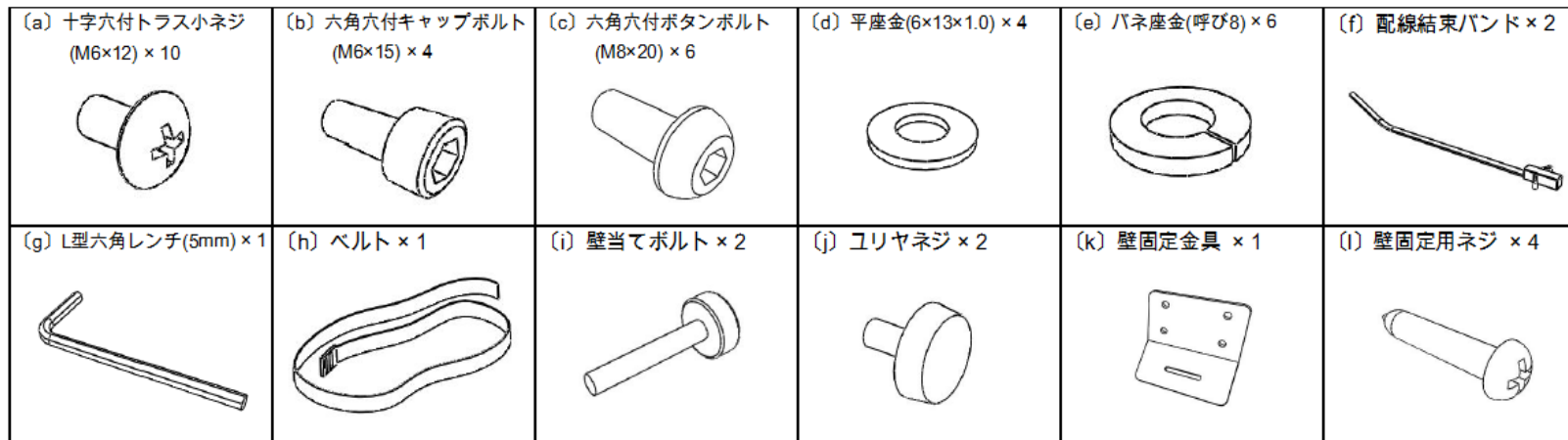
TCDS-CW47
TCDS-CW60 / 壁寄ディスプレイスタンド

○ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
○お読みになったあとは大切に保管してください。

○構成部品



○部品袋



○ディスプレイ固定用ネジ袋

十字穴付トラス小ネジ(M4×18) × 4	十字穴付トラス小ネジ(M8×20) × 4	M8平座金(8.5×25×5.0) × 4
十字穴付トラス小ネジ(M6×12) × 4	M4平座金(4×14×1.0) × 4	M4バネ座金 2号 × 4
十字穴付トラス小ネジ(M6×20) × 4	M6平座金(6×13×1.0) × 4	M6バネ座金 2号 × 4
十字穴付トラス小ネジ(M8×15) × 4	M8平座金(8×14×1.0) × 4	M8バネ座金 2号 × 4

○カメラ固定用ネジ袋

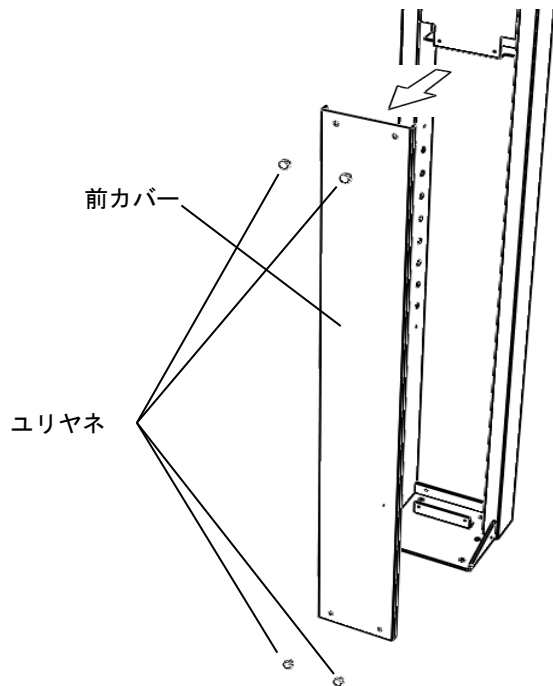
すりわり付き丸小ネジ(W1/4×10) × 1	M6平座金(6.4×12.5×1.6) × 2
-------------------------	-------------------------

組立を始める前に

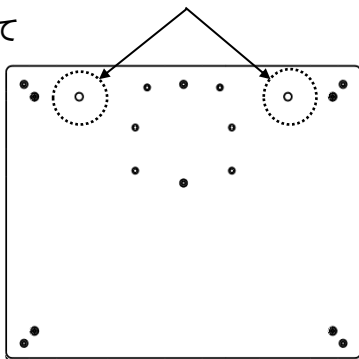
- 組立の前に必ず構成部材、部品袋、ネジ袋、完成図を確認してください。
- 組立はカーペットの上や毛布などを敷いて作業し、床や製品を傷つけないように注意してください。
- 組立は必ず2人以上で行ってください。転倒や部品の落下によるけが、破損のおそれがあります。
- イラストは実物とは多少異なります。

プラスドライバー(大)をご用意ください。

- 1** ■ [A] 支柱のユリヤネジをはずして、前カバーをはずします。

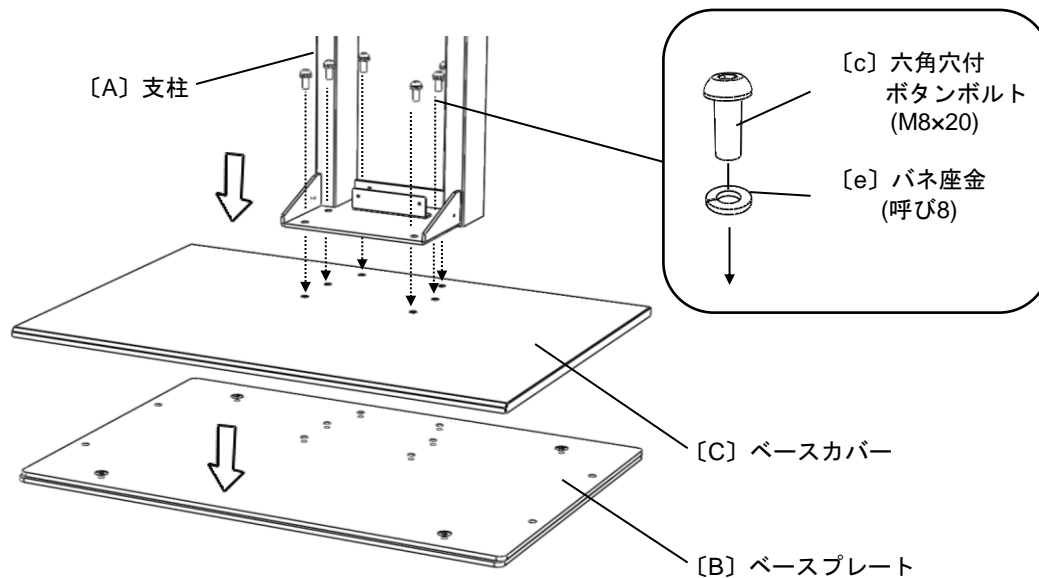


[B] ベースプレートには床固定用の穴を設けています。使用する場合は [C] ベースカバーに穴をあけてください。



床に固定する場合は工事専門業者にご依頼ください。

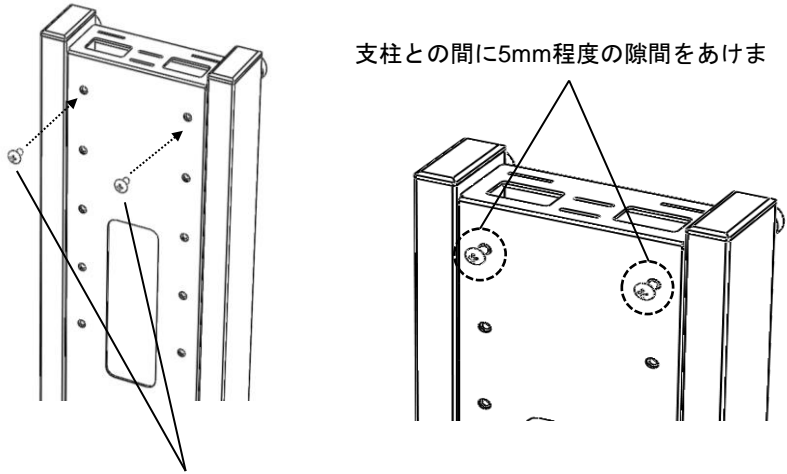
- 2.** [B] ベースプレートの上に [C] ベースカバー、[A] 支柱の順に載せて付属の [g] L型六角レンチを使用し、[c] 六角穴付ボタンボルト(M8×20)、[e] パネ座金(呼び8)で6箇所固定します。



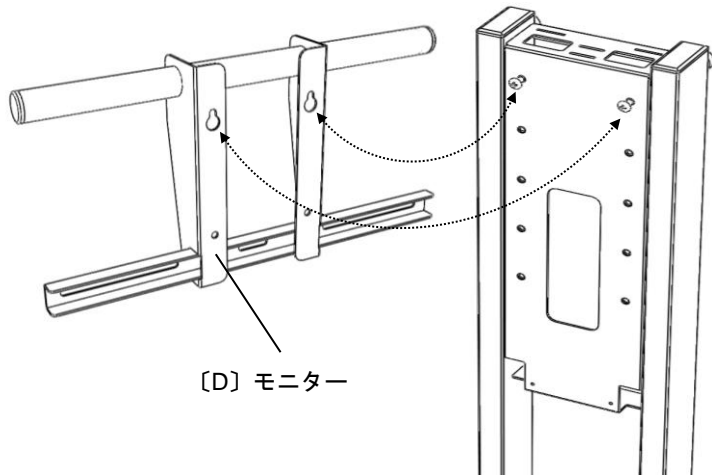
しっかりと締め付けてください。
機器やスタンドの落下・転倒による破損・けがの原因になります。

ネジや部品等の落下によるベースカバーの破損を防ぐために、支柱を組み立て後に [C] ベースカバーの上に梱包していたダンボール等を置いて養生してください。

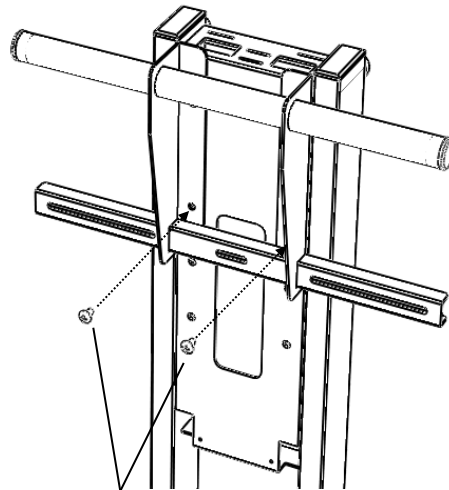
- 3.** [A] 支柱に [a] 十字穴付トラス小ネジ(M6×12)を隙間を5mm程度あけて上側を2箇所仮締めします。
 仮締めしたネジに [d] モニター受の上側の穴を引っ掛けて、下側を [a] 十字穴付トラス小ネジ(M6×12)で固定します。
 その後、上側のネジを本締めします。



[a] 十字穴付トラス小ネジ
(M6×12)

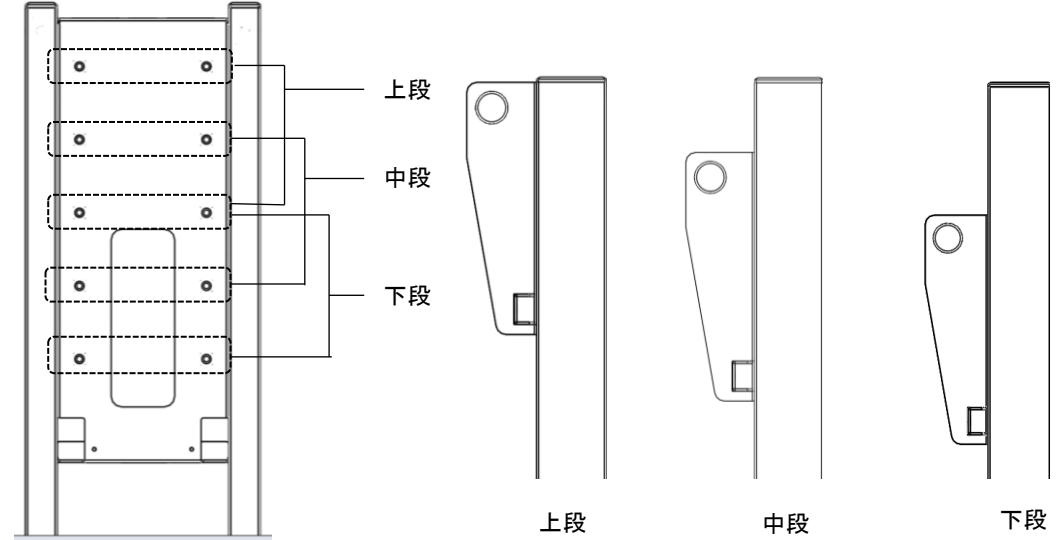


[D] モニター

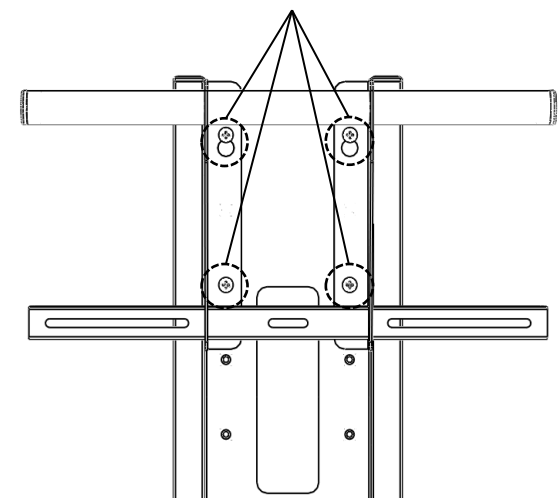


[a] 十字穴付トラス小ネジ
(M6×12)

モニター受の高さは3段階調整できます。

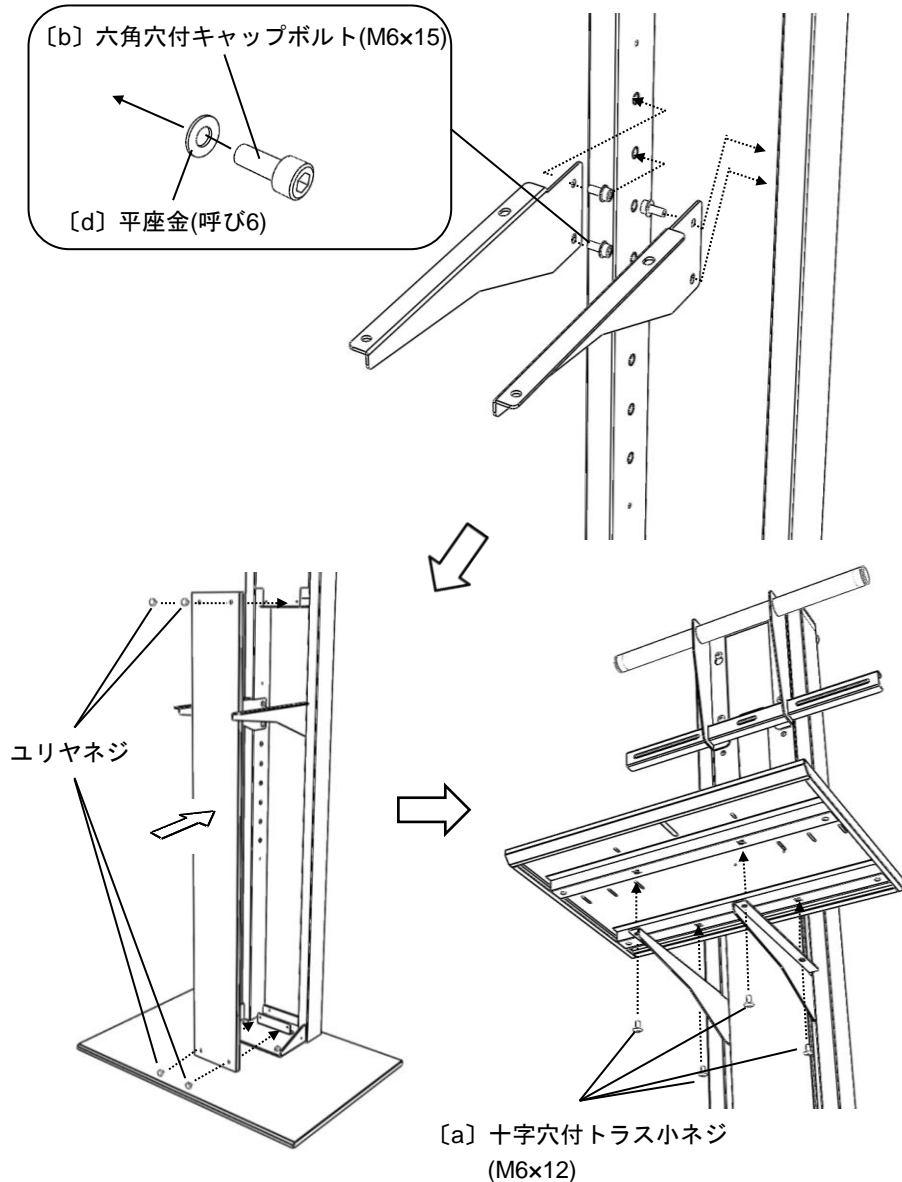


4箇所ネジ固定

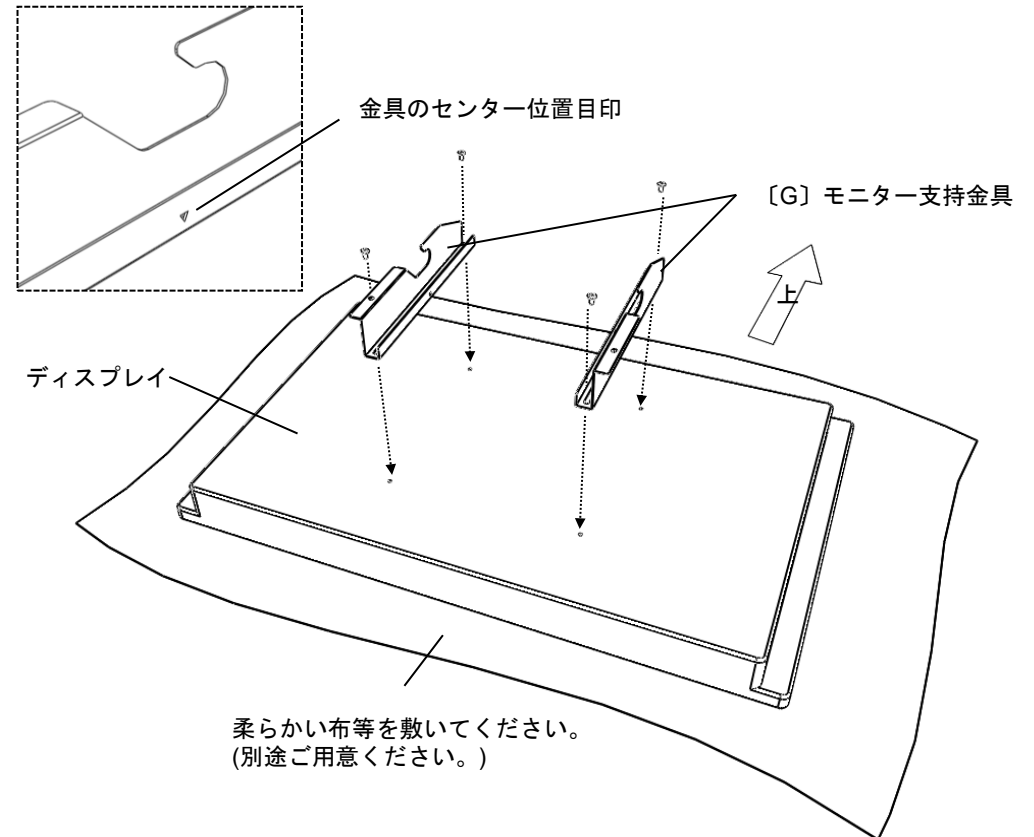


しっかりと締め付けてください。
 機器やスタンドの落下・転倒による破損・けがの原因になります。

4. [A] 支柱に [E] 棚板ブラケットを付属の [g] L型六角レンチを使って [b] 六角穴付キャップボルト(M6×15)と [d] 平座金(呼び6)で固定し、前カバーをはずした時の逆の手順で取り付けます。その後、[F] 棚板を [E] 棚板ブラケットの上ののせ、下から [a] 十字穴付トラス小ネジ (M6×12)で4箇所固定します。棚板の高さは7段階調整できます。



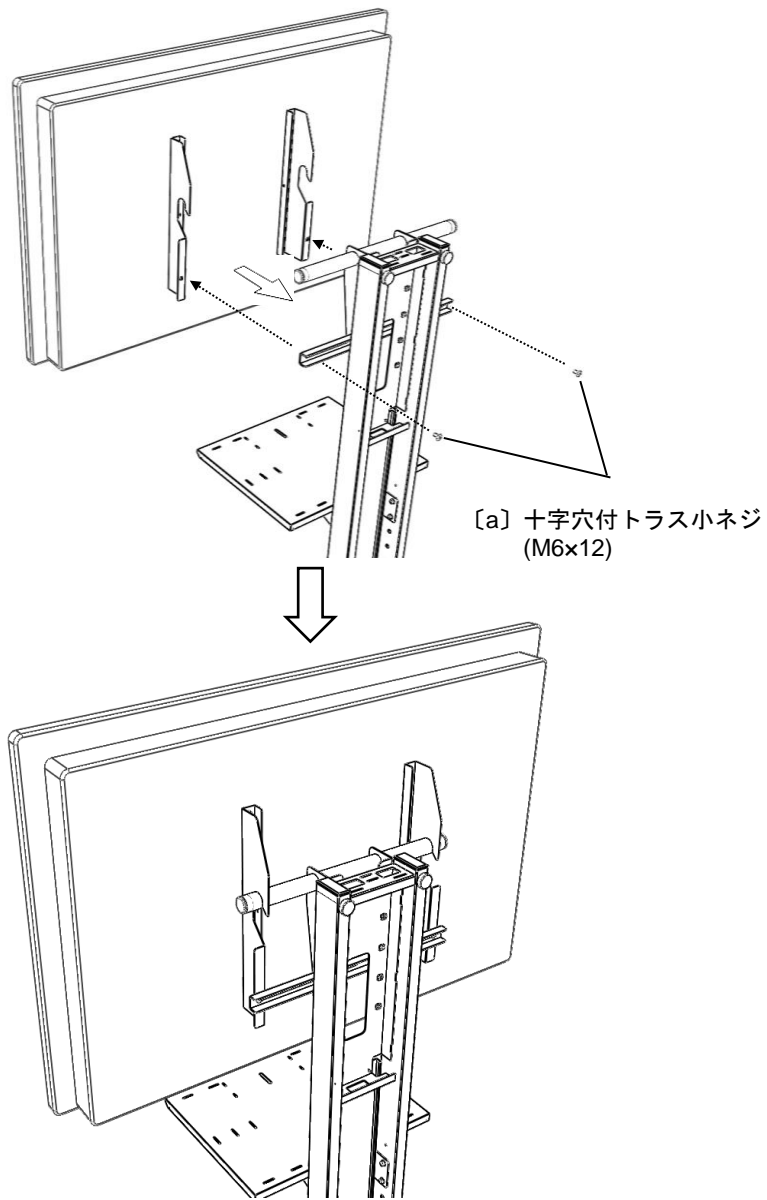
5. ディスプレイに [G] モニター支持金具を付属のディスプレイ固定用ネジ袋の中から最適なネジを選んで4箇所固定します。金具のセンター位置目印とディスプレイのセンターが重なるように金具を置き、ディスプレイの壁掛金具固定用のネジ穴に最も近い穴に合わせて固定します。



! しっかりと締め付けてください。
機器やスタンドの落下・転倒による破損・けがの原因になります。

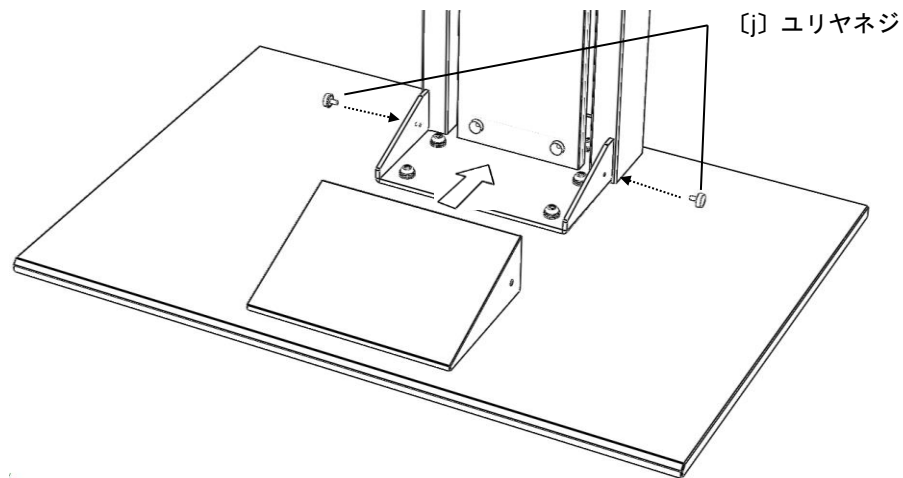
- !**
- 長すぎるネジを使用した場合、ディスプレイ内部の基盤を破損する恐れがあります。
 - ディスプレイ固定用ネジ袋の中に最適なネジがない場合は、ディスプレイのネジサイズをご確認の上、ホームセンター等で適切なネジをお求めください。
 - ディスプレイのネジ穴周辺がへこんだ形状のものや、ディスプレイ固定用のネジの長さが長い場合は、最適な樹脂ワッシャーをディスプレイとモニター支持金具の間にはさんで、4箇所固定してください。

6. [G] モニター支持金具を取り付けたディスプレイを [D] モニター受に引っ掛けて [a] 十字穴付トラス小ネジ(M6×12)で固定します。

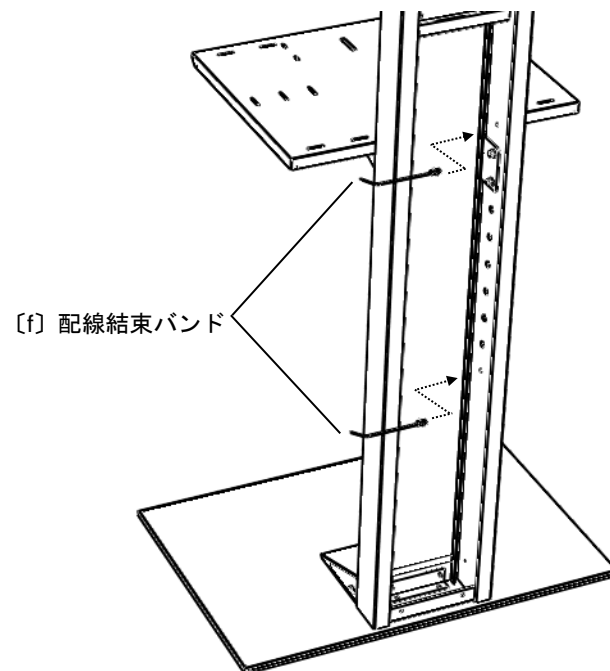


しっかりと締め付けてください。
機器やスタンドの落下・転倒による破損・けがの原因になります。

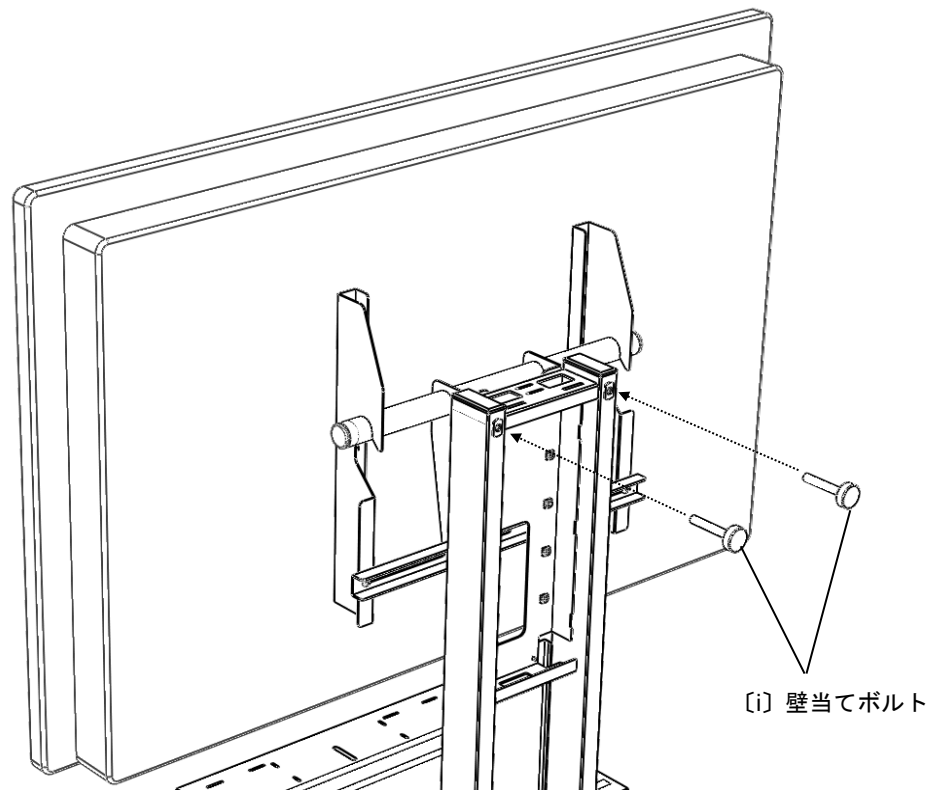
7. [H] ベース金具カバーを [j] ユリヤネジで取り付けます。



8. [A] 支柱の内側に [f] 配線結束バンドを2箇所取り付けます。取付可能な穴は左右で合計4箇所あります。



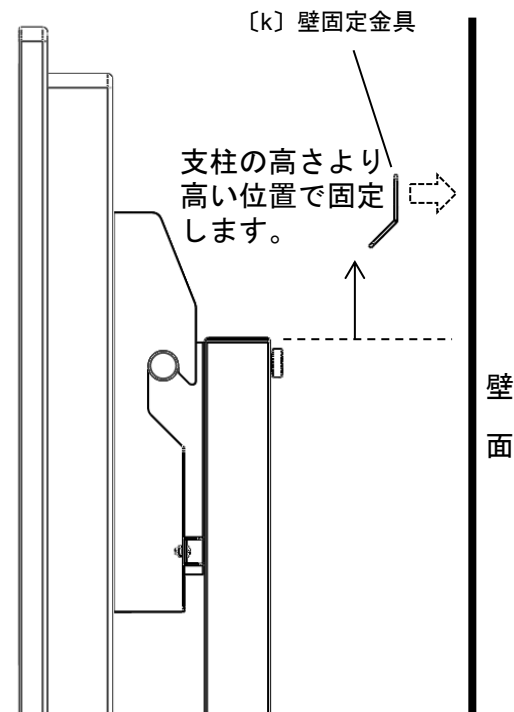
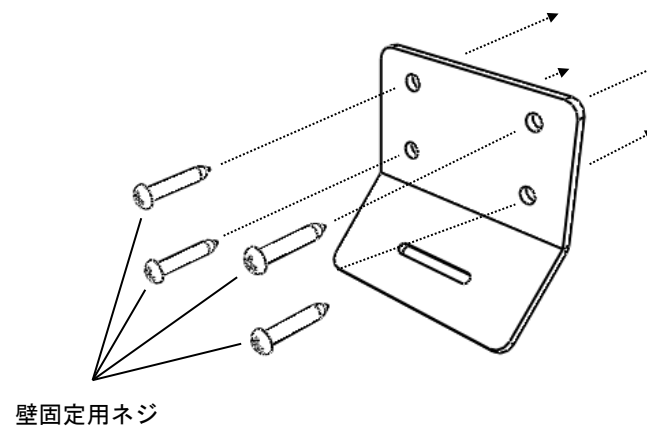
9. [A] 支柱の背面上部に [i] 壁当てボルトを2個取り付けます。



10. [k] 壁固定金具を壁面に [A] 支柱の高さより高い位置で固定します



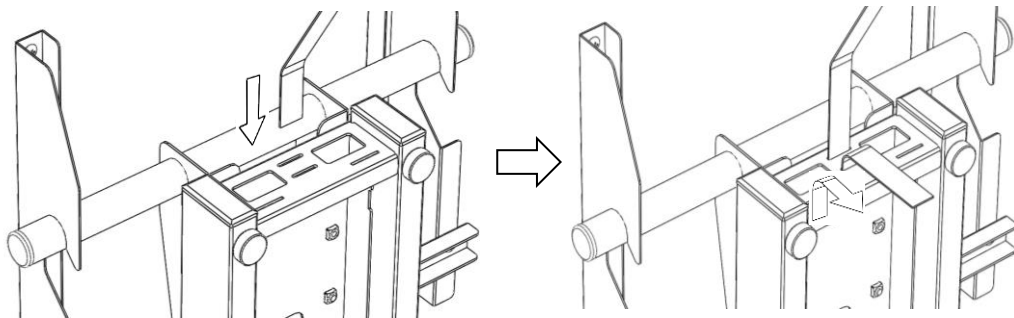
壁面への取付は取付工事専門業者にご依頼ください。
また、同梱している壁固定用ネジは壁面の材質によっては
使用できない場合があります。



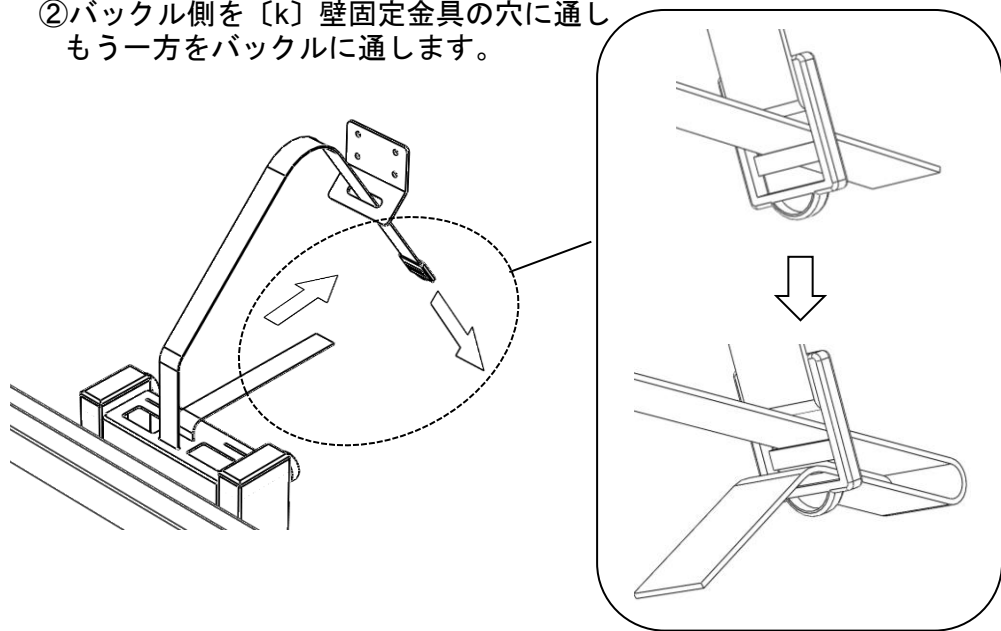
しっかりと締め付けてください。
機器やスタンドの落下・転倒による破損・けがの原因になります。

11. [h] ベルトを下の手順で [A] 支柱と [k] 壁固定金具それぞれに通します。ベルトには表裏があります。引っ張っても容易に外れない向きで通してください。

① [A] 支柱の上部の穴に通す。

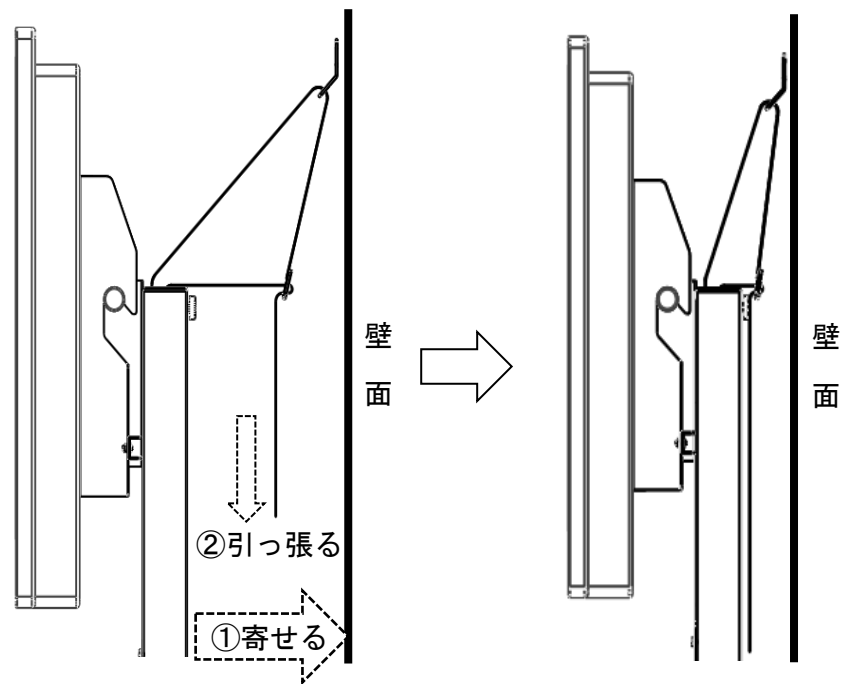


② バックル側を [k] 壁固定金具の穴に通し、もう一方をバックルに通します。

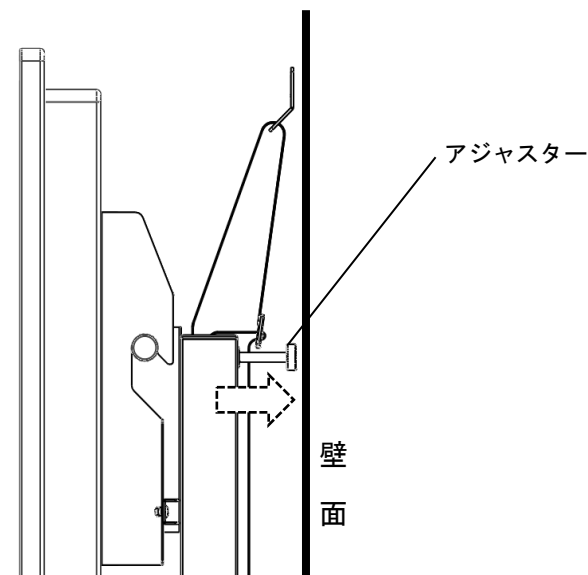


しっかりと締め付けてください。
機器やスタンドの落下・転倒による破損・けがの原因になります。

12. スタンドを壁面に寄せて [h] ベルトを引っ張り、たるみをなくします。

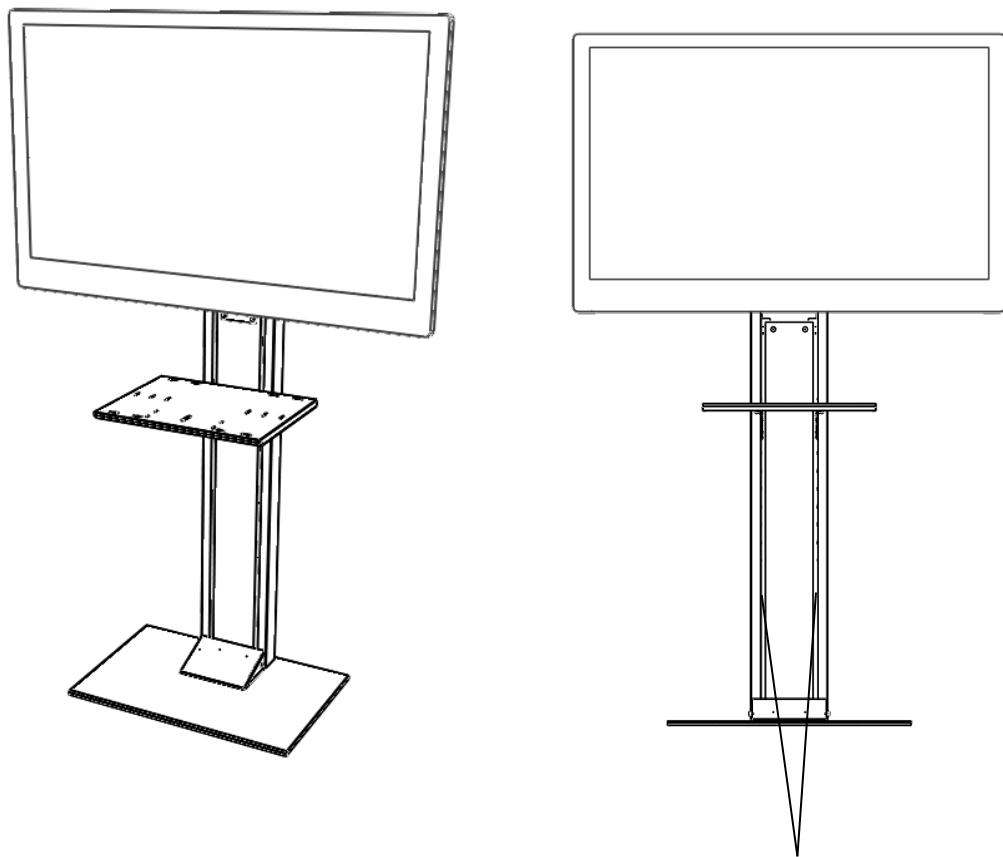


13. [A] 支柱背面の [i] 壁当てボルトを回して壁に接地させます。



完成.

○機器類の配線について



機器類のコードは前パネルの横のスペースから支柱の内側に配線できます。
※20mmまでのコード類は前パネルを固定している4箇所のカバーをはずして
前カバーをはずすだけで配線できます。
20mm以上のコード類は手順4.と逆の手順で前カバーを外して配線してください。

安全上のご注意

- 下記内容に十分注意してください。
転倒や落下によるけが・破損の原因になります。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。
 - ディスプレイの固定は、記載している手順通りに行ってください。
 - スタンドが機器コード類を踏みつけていないか確認してください。
 - 下記耐荷重を超えて、ものをのせないでください。
モニターハンガー30kgf / 棚板10kgf
 - 棚板の端に体重をかけたり、重いものをのせないでください。
 - 床に傾斜や段差のある不安定な場所では使用しないでください。

お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
 - 汚れが著しい場合はうすめた中性洗剤につけた布をかたく絞って拭いてください。
その後、水につけた布をよく絞って洗剤が残らないように拭き取り、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ※汚れを落とすときの注意
- 水にぬれたままにしておいたり、シンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。さびや変色の原因になります。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

製造元



株式会社 一ノ坪製作所

ICHINOTSUBO MANUFACTURING CO., LTD

本社 〒639-0264 奈良県香芝市今泉625番地

お問合せ先 電話 (0745)-76-3181

販売元

この組立説明書は、2018年11月現在のものです。
<組立説明書 No. TCDS-CW47-T04>